



# やましん

## 中小企業景況レポート

山梨信用金庫 経営戦略部  
〒400-0032 甲府市中央 1-12-36  
TEL 055-225-0213  
ホームページアドレス  
<http://www.yamasin.jp/>

2018.4.16 発行

### ■ 調査要領 ■

1. 調査対象  
当金庫営業エリア内の取引先中小企業 120社
2. 調査時期・期間  
調査時期：2018年3月1日～7日  
調査期間：今期実績 2018年1月～3月  
来期見通し 2018年4月～6月
3. 調査方法  
当金庫職員による訪問聞き取り調査
4. 分析方法  
DIを中心に分析

### ■ 調査対象と回答状況 ■

業種	企業数	回答数	回答率
製造業	30	27	90%
卸売業	15	15	100%
小売業	15	15	100%
サービス業	29	28	96.5%
建設業	23	23	100%
不動産業	8	8	100%
合計	120	116	96.6%

※ 国中地区 69社、東部地区 30社、相模原市周辺地区 17社

### ※ DI (Diffusion Index) とは

各質問事項で「良い(増加)」とした企業割合－「悪い(減少)」とした企業割合の構成比との差(判断DI)による分析です。  
例えば、回答が以下のような場合のDIの算出方法は、次のとおりです。

(例)「良い・やや良い」の回答が50%、「変わらず」の回答が30%、「悪い・やや悪い」の回答が20%の場合

DIは50「良い・やや良い」－20「悪い・やや悪い」＝＋30となります。DI値が高いほど景気が良いことを示しています。

### 業況判断DI

業種	前期	今期実績			来期見通し		
		良い	悪い	DI	良い	悪い	DI
総合	6.8	20.6	26.7	▲6.1	31.3	19.1	12.2
製造業	10.7	26.9	26.9	0.0	50.0	15.3	34.7
卸売業	▲6.6	13.3	33.3	▲20.0	20.0	13.3	6.7
小売業	0.0	26.6	33.3	▲6.7	40.0	20.0	20.0
サービス業	10.7	21.4	25.0	▲3.6	25.0	17.8	7.2
建設業	0.0	13.0	21.7	▲8.7	8.6	26.0	▲17.4
不動産業	37.5	25.0	25.0	0.0	62.5	25.0	37.5

### 業種別景気天気図

業種	前期	今期	見通し
総合			
製造業			
卸売業			
小売業			
サービス業			
建設業			
不動産業			

※本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。また、掲載資料は、正確性・完全性を保証するものではありません。

31以上	11~30	10~▲10	▲11~▲30	▲30未満

# 概況

## <業況・売上・収益>

今期（1～3月）のD Iをみると、業況判断D I（「良い」－「悪い」）は、前期（10～12月）の6.8から▲6.1と12.9ポイント悪化（前年同期比7.3ポイント改善）しました。売上D I（「増加」－「減少」）は、9.5から▲13.8と同23.3ポイント悪化（前年同期比9.7ポイント改善）、収益D I（「増加」－「減少」）は▲1.7から▲17.2と同15.5ポイント悪化（前年同期比7.2ポイント改善）となりました。

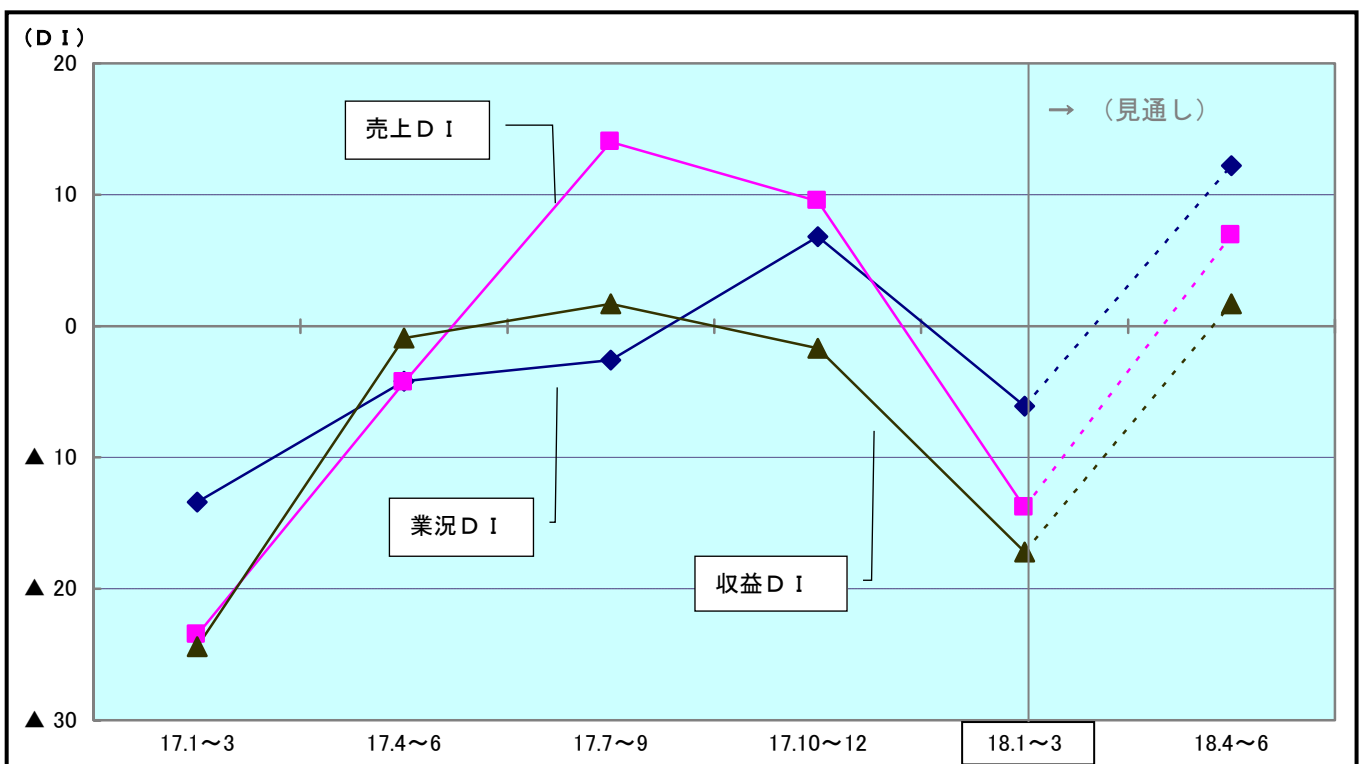
業況D I、売上D Iについては、すべての業種で悪化しております。

収益D Iについては、建設業が▲27.3から▲26.1と1.2ポイント改善したものの、その他すべての業種で悪化したことが要因となっています。

全業種総合の来期見通し（4～6月）をみると、業況判断D Iが▲6.1から12.2と今期実績比18.3ポイントの改善と見込まれています。また、売上D Iは▲13.8から6.9と同20.7ポイントの改善、収益D Iは▲17.2から1.7と同18.9ポイントの改善となり、すべてのD Iにおいて、改善が見込まれています。オリンピック需要による景気回復の底上げ、春期の観光需要増加への期待感等が来期見通しの改善の一つの要因と窺えます。業種別の業況判断D Iは、建設業で悪化が見込まれるものの、その他の業種で改善が見込まれています。

### ■ 業況・売上・収益D Iの時系列推移

	17.1～3	17.4～6	17.7～9	17.10～12	18.1～3	18.4～6見通し
業況D I	▲13.4	▲4.2	▲2.6	6.8	▲6.1	12.2
売上D I	▲23.5	▲4.3	14.0	9.5	▲13.8	6.9
収益D I	▲24.4	▲0.9	1.7	▲1.7	▲17.2	1.7



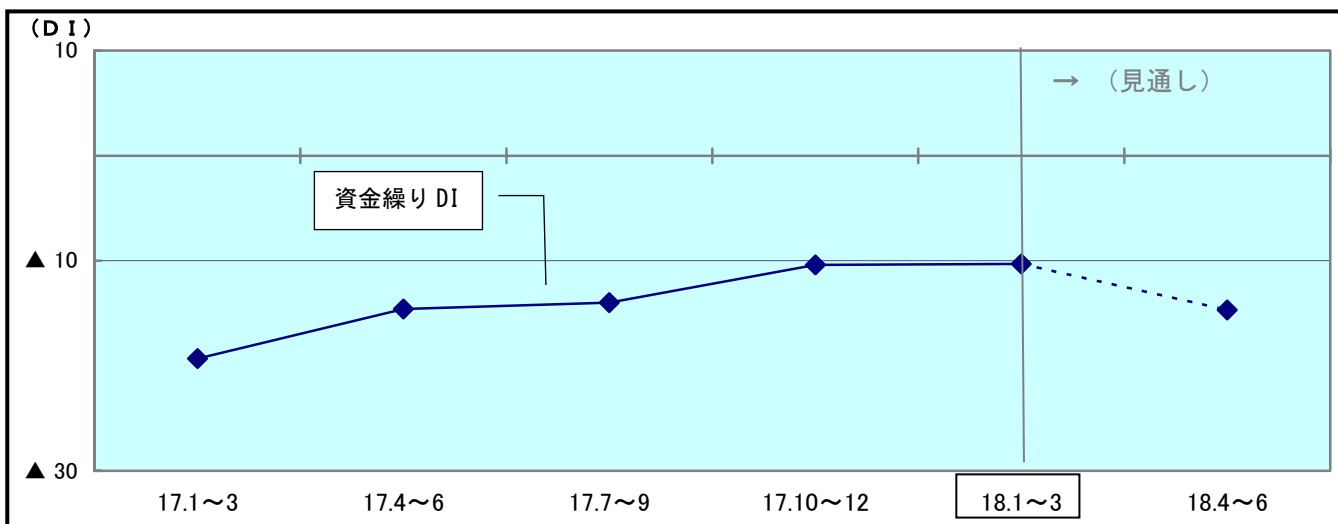
## <資金繰り>

資金繰りDI（「楽」－「苦しい」）は▲10.3と、前期比0.1ポイントの改善となりました（前年同期比9.0ポイント改善）。

また、来期の資金繰りDIは▲14.7と、今期実績比4.4ポイントの悪化が見込まれています。

### ■ 資金繰りDIの時系列推移

	17.1~3	17.4~6	17.7~9	17.10~12	18.1~3	18.4~6 見通し
資金繰りDI	▲19.3	▲14.6	▲14.0	▲10.4	▲10.3	▲14.7



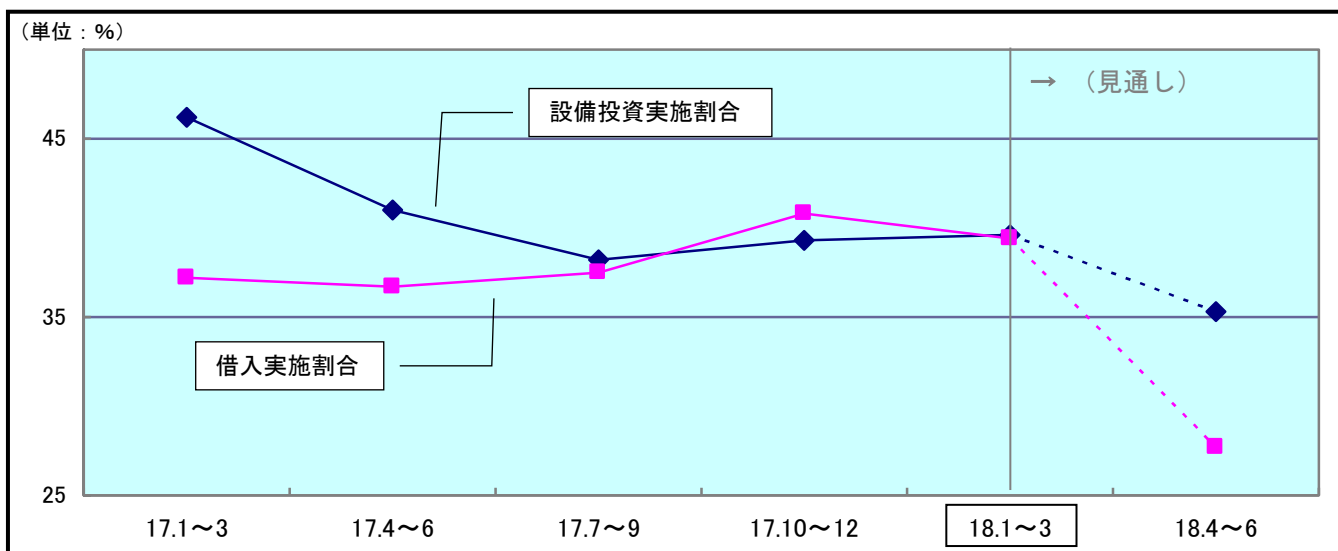
## <設備投資・借入動向>

不動産業を除いた設備投資実施企業割合は39.6%と、前期比0.3ポイント上昇しています（前年同期比6.6ポイント低下）。また、来期の設備投資実施予定企業割合は35.3%と、今期実績比4.3ポイントの低下が見込まれています。

全業種総合の借入実施企業割合は39.4%と、前期比1.4ポイント低下しています（前年同期比2.2ポイント上昇）。また、来期の借入実施予定企業割合は27.7%と、今期実績比11.7ポイントの低下が見込まれています。

### ■ 設備投資・借入実施動向の時系列推移

	17.1~3	17.4~6	17.7~9	17.10~12	18.1~3	18.4~6 見通し
設備投資実施割合	46.2%	41.0%	38.2%	39.3%	39.6%	35.3%
借入実施割合	37.2%	36.7%	37.5%	40.8%	39.4%	27.7%



## 【製造業】

【今期】すべてのD Iにおいて、前期（10～12月）比で悪化となり、景況感の厳しさが垣間見えます。また、売上の停滞・減少や人手不足等を背景として、売上、収益面については慎重な見方が増えてきています。

【来期】資金繰りD Iにおいては悪化を見込んでいるものの、その他のD Iは改善が見込まれています。増収増益に向けて、経費削減、販路拡大等を重点経営施策に掲げる企業が多くなっています。

### ■経営上の問題点（）内は前回順位

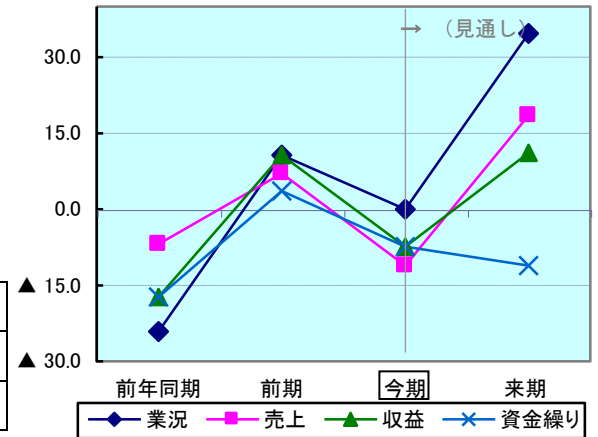
1	人手不足(2)	53.8%
2	売上の停滞・減少(1)	34.6%
	利幅の縮小(3)	
3	原材料の高騰(7)	30.8%

### ■当面の重点経営施策

1	経費の削減(3)	57.7%
2	販路の拡大(1)	53.8%
3	人材の確保(2)	50.0%

### ■主要D Iの推移

	前年同期	前期	今期	来期
業況	▲24.1	10.7	0.0	34.7
売上	▲6.9	7.1	▲11.1	18.5
収益	▲17.3	10.7	▲7.4	11.1
資金繰り	▲17.3	3.6	▲7.4	▲11.1



## 【卸売業】

【今期】前期（10～12月）比で横ばいとなっている資金繰りD Iを除く、すべてのD Iにおいて悪化となっています。売上の減少や同業者間の競争激化を懸念している企業が多くなっています。

【来期】資金繰りD Iにおいては悪化を見込んでいるものの、その他のD Iは改善が見込まれています。増収増益に向けて、販路拡大、経費削減等を重点施策に掲げる企業が多くなっています。

### ■経営上の問題点（）内は前回順位

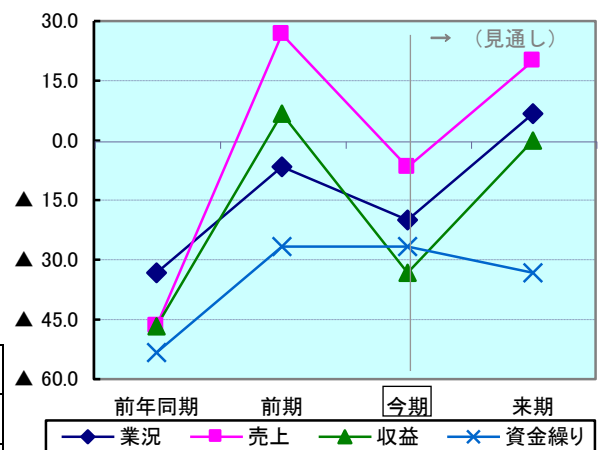
1	売上の停滞・減少(1)	53.3%
2	同業者間の競争激化(2)	46.7%
3	利幅の縮小(3)	40.0%

### ■当面の重点経営施策

1	販路の拡大(1)	73.3%
2	経費の削減(2)	46.7%
3	情報力の強化(4)	33.3%

### ■主要D Iの推移

	前年同期	前期	今期	来期
業況	▲33.3	▲6.6	▲20.0	6.7
売上	▲46.6	26.7	▲6.7	20.0
収益	▲46.7	6.7	▲33.3	0.0
資金繰り	▲53.3	▲26.7	▲26.7	▲33.3



## 【小売業】

【今期】資金繰りD Iは前期（10～12月）比で6.6ポイント改善の▲26.7となったものの、その他の各D Iにおいて悪化となりました。本調査から「商圈人口の減少」を経営上問題点に挙げる企業が多くなり、地域と密接な関係にある小売業にとっては重要な問題であることが窺えます。

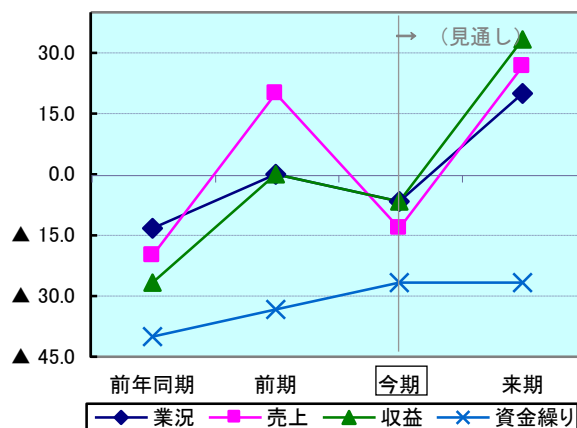
【来期】今期実績比で横ばいを見込む資金繰りD Iを除く、すべてのD Iにおいて改善が見込まれています。売上が停滞・減少する中、経費削減等を行い、収益の確保を行う企業が増加しています。

### ■経営上の問題点（ ）は前回順位 ■当面の重点経営施策

1	売上の停滞・減少(1)	26.7%	1	経費の削減(2)	46.7%
	人手不足(2)		2	品揃えの充実(1)	33.3%
	同業者間の競争激化(2)		3	人材の確保(2)	26.7%
	商圈人口の減少(8)				

### ■主要D Iの推移

	前年同期	前期	今期	来期
業況	▲13.3	0.0	▲6.7	20.0
売上	▲20.0	20.0	▲13.3	26.7
収益	▲26.7	0.0	▲6.7	33.3
資金繰り	▲40.0	▲33.3	▲26.7	▲26.7



## 【サービス業】

【今期】資金繰りD Iは前期（10～12月）比で10.7ポイント改善の0.0となったものの、その他のD Iにおいて悪化となりました。経営上の問題点で「人手不足」と回答する企業が前回調査同様に多く、人手不足感が一段と強まる結果となりました。

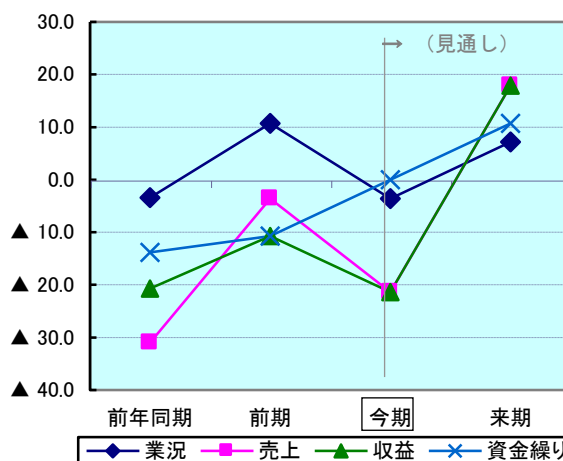
【来期】すべてのD Iにおいて、今期実績比で改善を見込んでおります。人手不足解消に向けて、人材確保に注力する企業が多いことが窺えます。

### ■経営上の問題点（ ）は前回順位 ■当面の重点経営施策

1	人手不足(1)	53.6%	1	人材の確保(1)	53.6%
	売上の停滞・減少(2)		2	経費の削減(2)	42.9%
	人件費の増加(5)		25.0%	3	販路の拡大(3)

### ■主要D Iの推移

	前年同期	前期	今期	来期
業況	▲3.4	10.7	▲3.6	7.2
売上	▲31.0	▲3.6	▲21.4	17.9
収益	▲20.7	▲10.7	▲21.4	17.9
資金繰り	▲13.8	▲10.7	0.0	10.7



## 【建設業】

【今期】収益D Iは前期（10～12月）比で1.2ポイント改善の▲26.1となったものの、その他のD Iにおいて悪化となりました。人手不足や同業者間の競争が激化していることが売上低下の一因となっています。

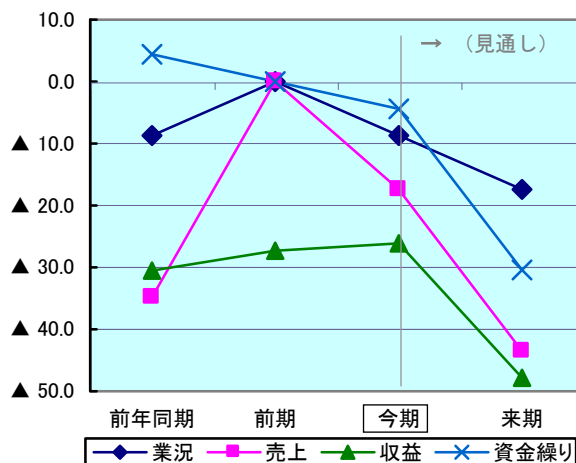
【来期】すべての各D Iにおいて、今期実績比で悪化を見込んでおります。同業者間の競争が激化する中、技術力の強化し、他社との差別化を図ることを重点経営施策としている企業が多いことが窺えます。

### ■経営上の問題点（）は前回順位 ■当面の重点経営施策

1	同業者間の競争の激化(1)	47.8%	1	技術力の強化(1)	43.5%
2	人手不足(2)	43.5%		経費の削減(1)	
3	売上の停滞・減少(4)	34.8%	3	販路の拡大(3)	39.1%

### ■主要D Iの推移

	前年同期	前期	今期	来期
業況	▲8.7	0.0	▲8.7	▲17.4
売上	▲34.8	0.0	▲17.4	▲43.5
収益	▲30.5	▲27.3	▲26.1	▲47.8
資金繰り	4.4	0.0	▲4.4	▲30.4



## 【不動産業】

【今期】前期（10～12月）比で横ばいとなっている資金繰りD Iを除く、すべてのD Iにおいて悪化となっています。商品物件の不足や同業種間の競争激化していることが売上低下の一因となっています。

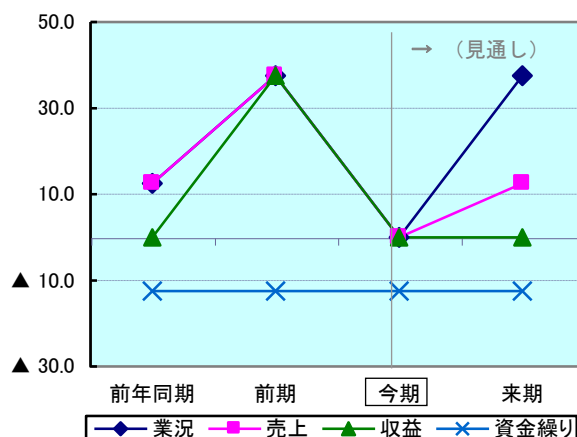
【来期】収益、資金繰りD Iは今期実績比で横ばいが見込まれるものの、業況、売上D Iは改善が見込まれています。商品物件不足の解消に向けて、情報力の強化等に注力していることが窺えます。

### ■経営上の問題点（）は前回順位 ■当面の重点経営施策

1	商品物件の不足(1)	62.5%	1	情報力の強化(1)	62.5%
2	同業者間の競争激化(2)	50.0%		販路の拡大(3)	
3	売上の停滞・減少(3)	25.0%	3	宣伝・広告の強化(3)	25.0%
	人件費以外の経費の増加(3)				
	大企業との競争の激化(6)			人材のパート化(3)	

### ■主要D Iの推移

	前年同期	前期	今期	来期
業況	12.5	37.5	0.0	37.5
売上	12.5	37.5	0.0	12.5
収益	0.0	37.5	0.0	0.0
資金繰り	▲12.5	▲12.5	▲12.5	▲12.5



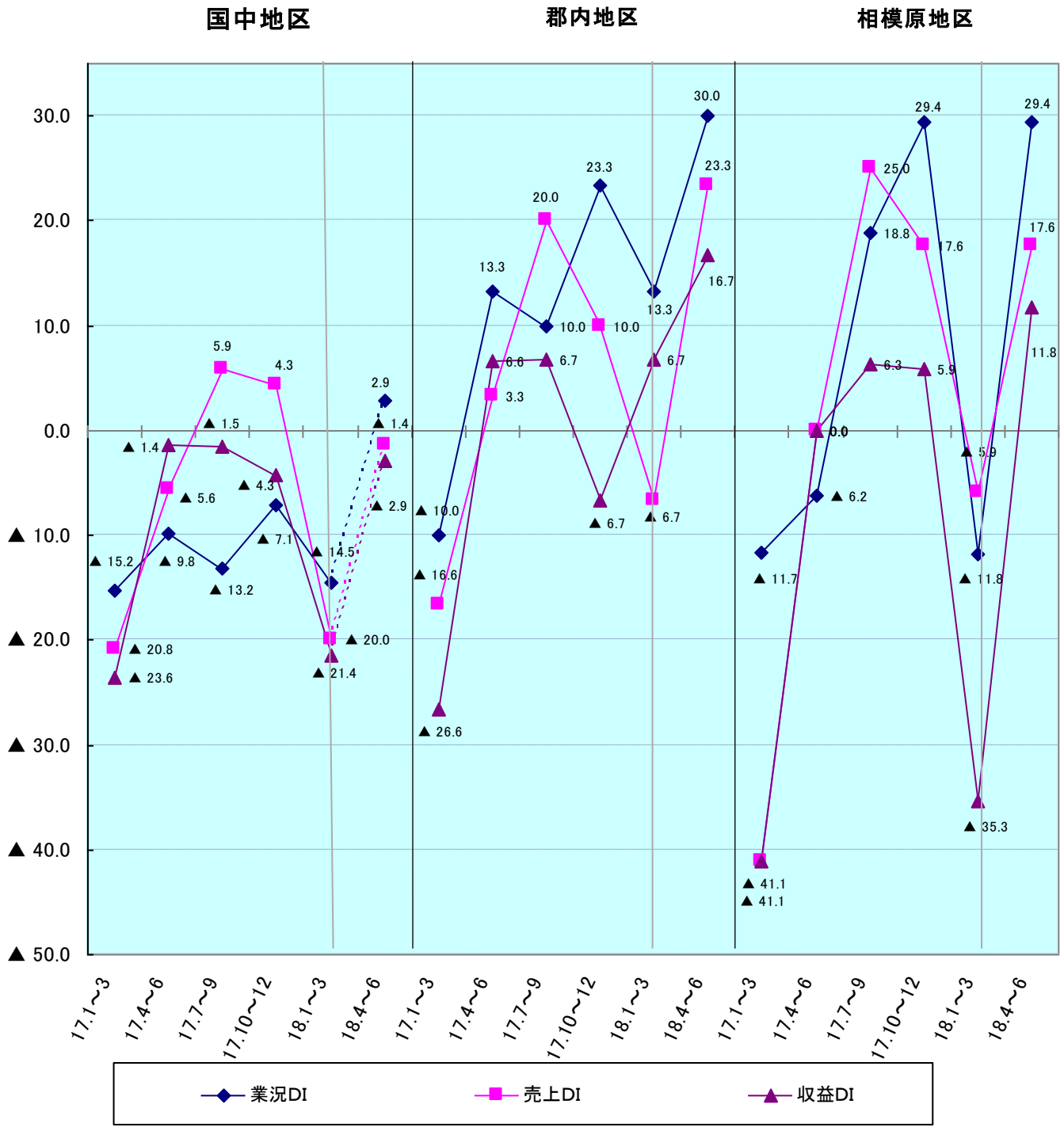
# <地区別 D I の状況>

国中地区においては、すべての D I が前期（10～12 月）比で悪化となりました。

郡内地区においては、収益 D I が▲6.7 から 6.7 と同 13.4 ポイント改善したものの、業況 D I、売上 D I は悪化となりました。

相模原地区においては、すべての D I が前期（10～12 月）比で悪化となりました。

来期の見通しについては国中地区、郡内地区、相模原地区のすべての地区において、すべての D I で改善が見込まれおり、来期の景況感回復への期待が窺えます。

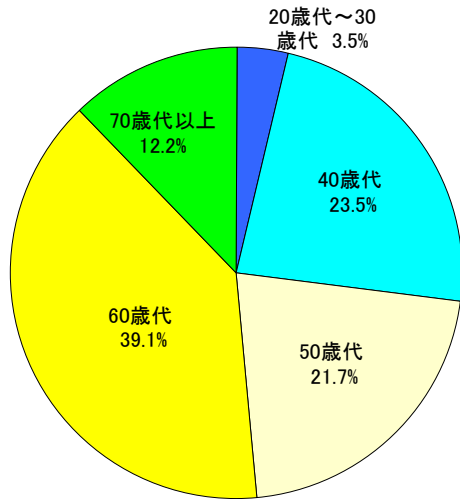


特別調査

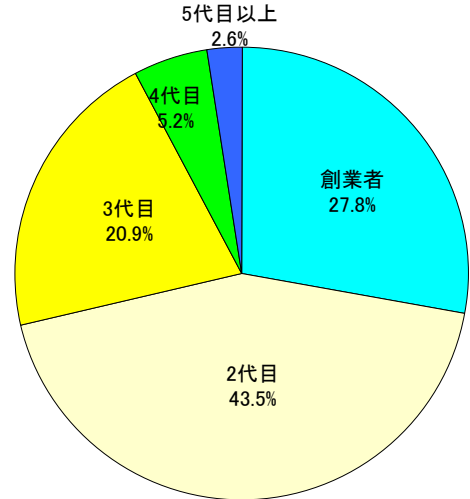
# 経営者の健康管理と事業の継続について

◆貴社の社長（代表者）の年齢階層はいずれに属しますか。また、現在の社長（代表者）は何代目ですか。（回答企業数：115社）

社長(代表者)の年齢階層



現在の社長(代表者)は何代目



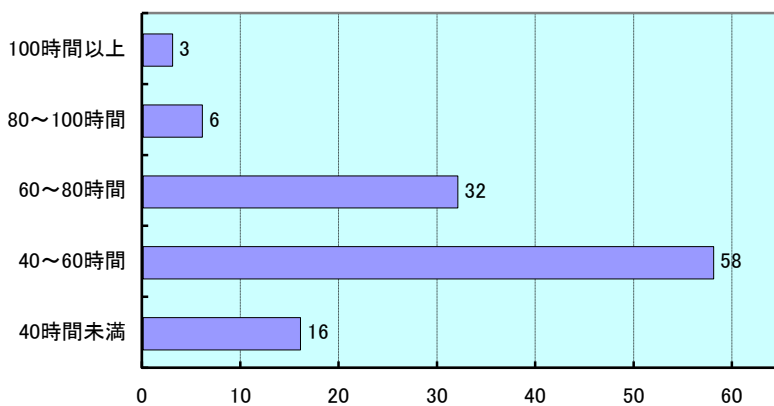
社長（代表者）の年齢階層については、「60歳代」が45社（39.1%）と最も多く、次いで、「40歳代」27社（23.5%）となりました。「50歳代」の経営者数を「40歳代」が上回る結果になったものの、「60歳代」「70歳代以上」の経営者数が全体の半数を占める結果となりました。

社長（代表者）の代については、「2代目」が50社（43.5%）と最も多く、次いで、創業者が32社（27.8%）、3代目が24社（20.9%）となりました。

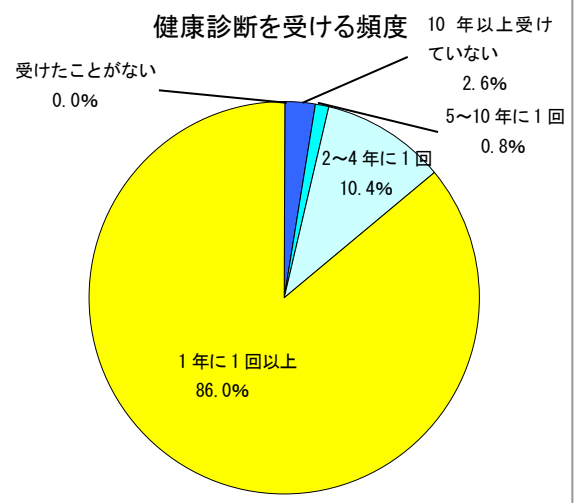
◆社長（代表者）の先月の労働時間は、1週間あたりにするとどの程度ですか。また、健康診断をどの程度の頻度で受けていますか。（回答企業数：115社）

（単位：社）

1週間あたりの労働時間



健康診断を受ける頻度



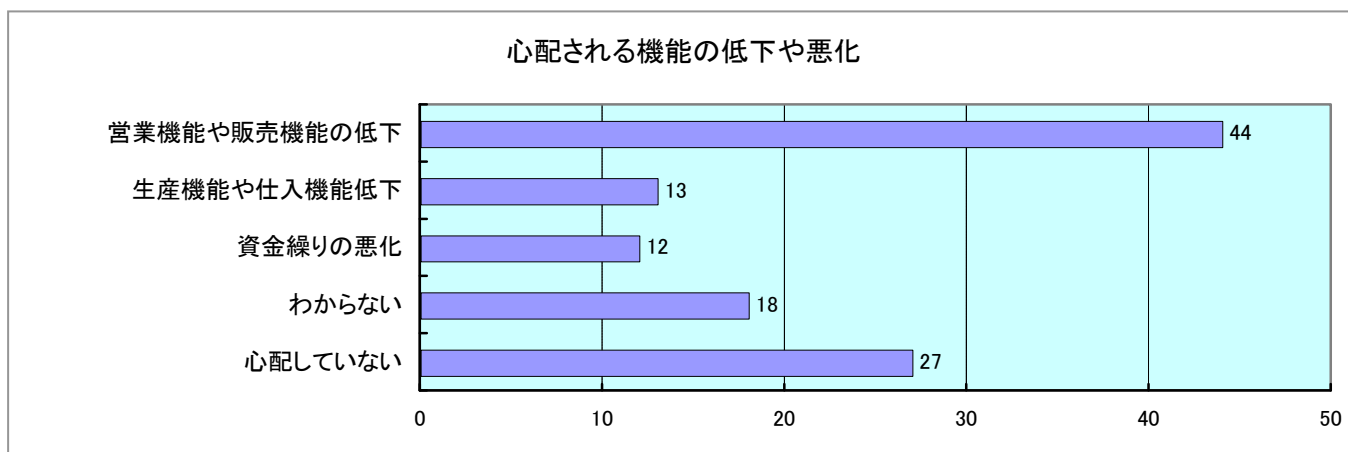
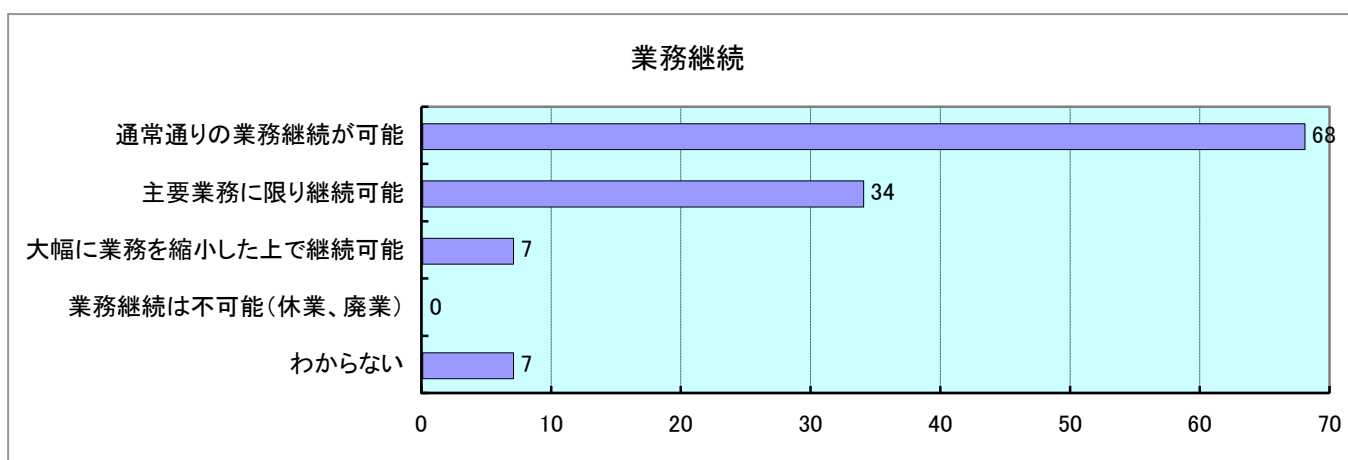


社長（代表者）の1週間あたりの労働時間は、「40～60時間」が58社（50.4%）と最も多く、次いで「60～80時間」が32社（27.8%）となりました。業種別でみると、60時間以上の回答の合計が最も多い業種は小売業となり、全体の60.0%の回答となりました。

社長（代表者）が健康診断を受ける頻度は、「1年に1回以上」が99社（86.0%）と大半を占める結果となりました。

- ◆ 仮に今、社長（代表者）の方がケガや病気等で1か月間の休養を余儀なくされたとします。貴社では、どの程度の業務継続が可能ですか。また、休養中に特に心配される貴社の機能の低下や悪化はどのようなものですか。（回答企業数：116社）

（単位：社）

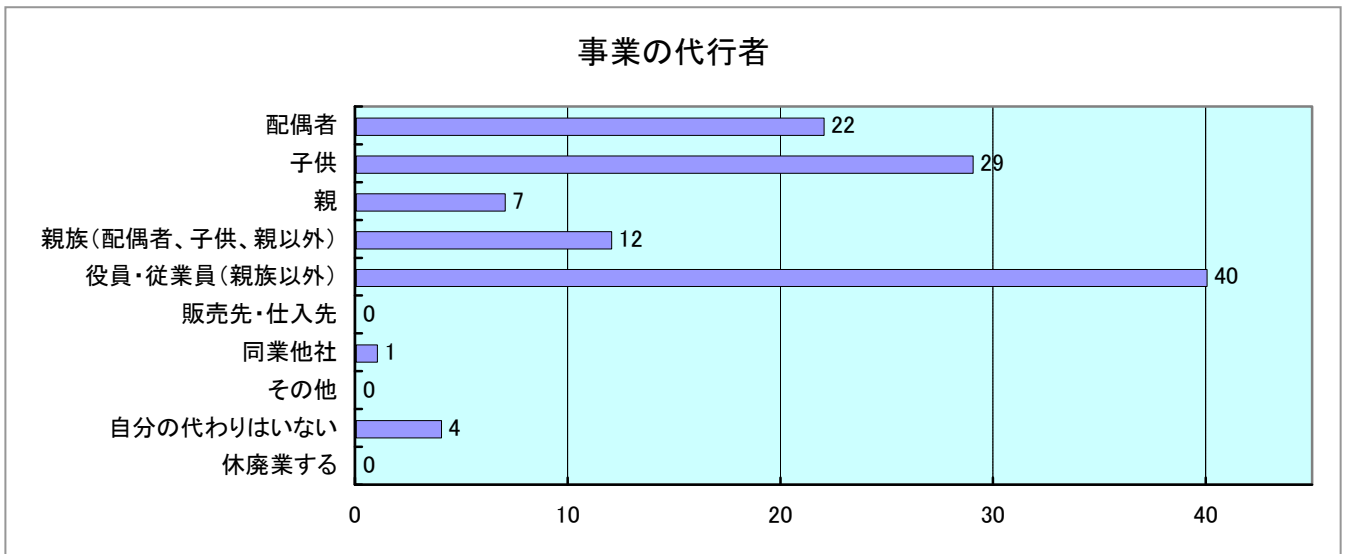


社長（代表者）が休養を余儀なくされた場合の業務継続について、「通常通りの業務継続が可能」が68社（58.6%）と最も多い結果となりました。

また上記に伴い、心配される機能の低下や悪化は「営業機能や販売機能の低下」が44社（38.6%）と最も多く、次いで「心配していない」が27社（23.7%）となりました。

◆社長（代表者）の方がケガや病気等で1か月間の休養を余儀なくされたとします。貴社には、休養中の社長（代表者）の事業を代行できる人がいますか。（回答企業数数：115社）

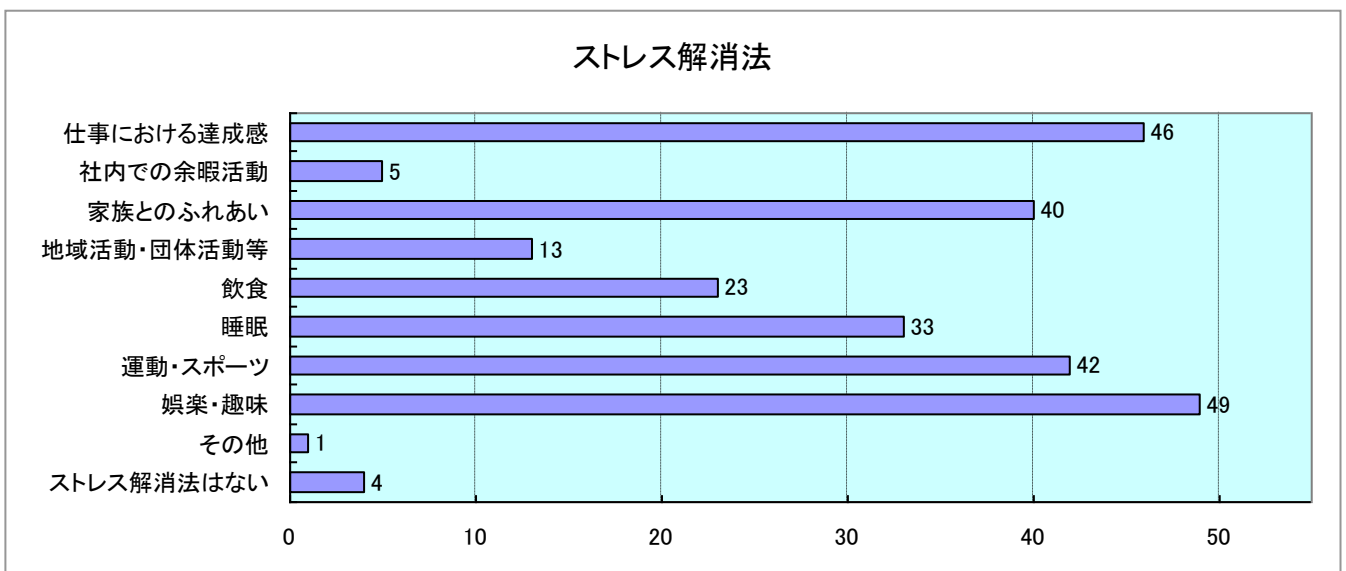
（単位：社）



休養を余儀なくされた場合の社長（代表者）の事業代行者は役員・従業員（親族以外）が40社（34.8%）と最も多い結果となりました。また、親族が事業代表者とする回答の合計は70社（60.8%）となり、半数以上を占める結果となりました。

◆ストレス解消法は何ですか。（複数回答）（回答企業数：115社）

（単位：社）



社長（代表者）のストレス解消法は「娯楽・趣味」が49社（42.6%）と最も多く、次いで「仕事における達成感」が46社（40.0%）となりました。

## 調査員のコメント

### 製造業

○社員全員に年1回の健康診断を受診させ、健康管理に留意している。また、代表者も常日頃より、食事や運動に関心を持ち、ケガや病気をしないように心掛けている。(食品製造業)

### 卸売業

○徹底した在庫管理や主力商品の売上の安定化等の営業努力から増収増益が期待される。今後は、送料の値上げに対応する策を考え、競合に負けないことが課題となる。(生活雑貨販売業)

### 小売業

○世代交代を検討中。また、販路拡大、仕入商品の見直し等を検討し、売上増加を目指す。他社との差別化を図り、地域住民へのアピールを検討中。(呉服、洋品販売業)

### サービス業

○県内人口減少の中で利用者も減少。材料価格の上昇も課題となる。広告宣伝に力を入れることで、県内外の利用客集客に努めていく。(宿泊業)

### 建設業

○材料費の高騰により、利幅が縮小しており、収益の安定確保が課題となっている。経費削減や人材育成による生産性の向上を図っていきたい。(空調機器等搬出設置工事業)

### 不動産業

○若干、戸建需要が落ち込んでいる状況であるが、その分、大手建売業者等が仕入を控えており逆に仕入のチャンスとなっている。夏以降は戸建需要が戻るとの見込みである。(不動産販売業)

## ☆山梨県、神奈川県(相模原地区)トピックス(4~6 月期)

### 4 月

相模原駅北口、東西道路開通 (相模原市)

⇒JR相模原駅北口の米軍相模原総合補給基地の一部返還地にて全長 550Mの東西道路が開通。返還地においては、将来、小田急線の延伸が計画されています。相模原市は、同駅周辺の回遊性を高めるために先行で整備を始めています。

### 6 月

甲府さかなっぴ市 (甲府市)

⇒甲府市地方卸売市場協会の主催により、甲府地方卸売市場にて 3、6、9 月の第 4 土曜日に開催。市場を開放して、仲卸店舗で野菜や果物、魚介類などを一般消費者に向けて販売します。

【交通アクセス】会場：甲府市地方卸売市場 (山梨県甲府市国母 6-5-1)

中央自動車道甲府南 IC、甲府昭和 IC どちらから 15 分 駐車場あり

あじさい祭り (大月市猿橋)

⇒2000 年から始まった名勝猿橋あじさい祭り。猿橋から遊歩道でつながっている猿橋近隣公園で毎年開催されています。公園には約 3,000 株の様々な色のあじさいがあちらこちらで競うように咲いています。

【交通アクセス】会場：猿橋近隣公園 (山梨県大月市猿橋町猿橋)

大月 IC より東京方面へ 15 分 駐車場あり

甘々娘収穫祭 (市川三郷町)

⇒糖度がメロン並みにあるとうもろこし「甘々娘」の収穫祭。6 月 10 日に開催。甘々娘直売 (完売次第終了)、収穫体験、抽選会等イベントが盛りだくさんとなっています。

【交通アクセス】会場：市川三郷町歌舞伎文化公園 (山梨県西八代郡市川三郷町上野 3158)

中央自動車道甲府南 IC より 20 分 駐車場あり

### 編集後記

このたびの中小企業景気動向調査においては、お忙しい中、ご協力賜りまして誠にありがとうございました。

今回の調査では、業況判断DIが前期比 12.9 ポイント悪化の▲6.1 となりました。一方、来期の見通しについては、今期実績比 18.3 ポイント改善の 12.2 と見込まれています。また、多くの企業の課題として人手不足が挙げられており、人材の確保が難航していることが窺えます。

今回の特別調査では「経営者の健康管理と事業の継続について」と題して調査をいたしました。本調査で多くの経営者が健康管理に気を使い、また、もし経営者が休養をすることになっても、多くの企業で事業を継続して行えるように対策をしていることが窺えます。

当金庫におきましても、今後とも地域の皆さまの助力となれるようにお客様それぞれのニーズに応じた商品・サービス提供やその他情報提供に一層、努めてまいります。

また、本レポートより山梨県、神奈川県(相模原地区)の情報やイベント等を掲載しております。イベント等につきましては、近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。

その他、地域の事業者が抱える様々な課題に対しましても積極的にご支援していく所存ですので、お気軽に当金庫営業店または担当者までご相談ください。